

令和6年度 総会資料

「国宝松本城を世界遺産に」 推進実行委員会



(第24回国宝松本城絵画コンクール会長賞)

令和 6 年 6 月 4 日 (火)

あがたの森文化会館 講堂1階 ホール

総 会 次 第

1 開会

2 会長あいさつ

3 世界遺産に係る松本市の現状

4 議事

- | | |
|-------------|----------------------|
| (1) 報告 | 令和 6 年度実行委員会役員体制について |
| (2) 報告 | 新規会員の入会について |
| (3) 議案第 1 号 | 令和 5 年度事業報告 |
| (4) 議案第 2 号 | 令和 5 年度収入支出決算 |
| (5) 議案第 3 号 | 令和 6 年度事業計画（案） |
| (6) 議案第 4 号 | 令和 6 年度収入支出予算（案） |
| (7) その他 | |

5 閉会

(報告)

令和6年度実行委員会役員体制について

規約第6条

役員の任期は、実行委員会が解散するときまでとします。但し、団体の中で異動があったときは、その後任者が継承します。

令和6年度の実行委員会役員は、次のとおりとします。

<実行委員会役員>

区分	旧	新	職名等
会 長	臥 雲 義 尚	同	松本市長
副会長	上 條 温	同	松本市議会議長
副会長	赤 羽 郁 夫	同	松本古城会長
副会長	畑 谷 広 治	井 口 弥 寿 彦	信濃毎日新聞社常務取締役松本本社代表
副会長	春 日 孝 介	中 田 景 文	松本市町会連合会長
副会長	赤羽 眞太郎	同	松本商工会議所会頭
副会長	田 中 均	同	松本ハイランド農業協同組合代表理事組合長
監 事	神 澤 陸 雄	同	長野県経営者協会中信支部長
監 事	大 嶋 三 紀 夫	濱 幾 郎	松本ユネスコ協会長

(顧問) 田 中 荘 太 (同) 松本古城会名誉会長(前松本古城会長)

<事務局>

信濃毎日新聞松本本社
松本市文化観光部文化振興課
松本市教育委員会

(報告)

新規会員の入会について

規約第4条第2項

この実行委員会への入会は、会員2名以上の推薦により、役員会の承認を経て認めるものとします。

今年5月末までに、下記の企業から、実行委員会への入会の申込みがございました。規約第4条第2項の規約にもとづき、令和6年5月29日の役員会で承認をいただきましたので、ご報告いたします。

団体名	代表者名	職名等	備考
株式会社 エム・エス・ディ	工藤 勲	代表取締役	
川越印刷 株式会社	小林 雅範	代表取締役	
電算印刷 株式会社	宮澤 徹	代表取締役社長	

令和5年度事業報告

1 「松本城の日」制定記念事業

(1) 「松本城の日記念講演」による普及啓発

松本城の世界遺産登録に向けた運動への市民の理解を深め、運動の広がりを図るため、講演会を実施しました。新松本市立博物館の開館記念展示「まつもと博覧会」の実施に合わせ、博覧会開催の立役者市川量造氏にスポットを当てました。

ア 日 程：10月22日(日)

イ 会 場：松本市立博物館 講堂

ウ 聴講者：95 名

エ 内 容：①「松本城保存の恩人

市川量造の功績とその意義」

講師) 元松本城研究専門員

青木 教司 氏

②「市川量造の業績とその人生について」

講師) 市川 量一 氏(量造の曾孫)



講演の様子

(2) 『松本城の日新聞』による普及啓発

令和4年に掲載した記事を再編集した『松本城の日新聞』を増刷し、市内中学3年生に配布しました。教員向けに、「松本城の日」及び市川量造に関する資料を合わせて配布し、学校の朝会などでの話題提供となるよう依頼をしました。

配布数：2,250 枚



松本城の日新聞

(3) 「松本城の日」PR用ロゴの活用

「松本城の日」PR用の実行委員会ロゴを市内企業等に使用していただくことで、松本城を含む国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向けた活動や実行委員会の活動について広くPRしました。

活用実績：計4件(松本スイーツ、かまくらや、日本郵便、万寿堂)



万寿堂「赤飯万寿」

(4) 県民向け普及啓発

松本城の日（11月10日）当日の新聞朝刊（1社）に全面広告を掲載し、広く県民に対しPRを行いました。また、広告売上げの一部を実行委員会に寄付いただきました。

ア 広告媒体：信濃毎日新聞（朝刊）

イ 掲載日：11月10日（金）（松本城の日当日）

ウ その他：朝刊発行部数 約42万部



受領式の様子

(5) 来観者向け普及啓発

松本城の日を含む11月の1か月間、二の丸公園内に「松本城の日PR看板」を設置し、来観者に対しノベルティを配布しPRを行いました。

【看板】

ア 設置場所：松本城黒門入口付近

イ 周知期間：11月2日（木）～30日（木）

ウ その他：88,596人（参考：松本城来観者数）



看板設置の様子

【ノベルティ配布】

ア 配布数：先着300セット

（「松本城の日」メモ、紙製ファイル、エコバック、
「松本城の日」新聞、石川親子マグネットシート）

イ 配布日：11月10日（金）



配布の様子

(6) 実行委員会会員（日本郵政株式会社）との連携による普及啓発

【切手シート】

令和4年に引き続き、「松本城の日」制定記念切手を製作しPRを行いました。なお、日本郵政㈱中信地区連絡統括局長から市に対してその記念切手シートをご寄贈いただきました。

ア 制作部数：1,000シート（84円切手×10枚）

イ 販売局：中信地区郵便局 102局

ウ デザイン：塩入久氏（木版画家）



松本城の日記念切手

【年賀はがき】

実行委員会ロゴを入れた令和6年新年用の年賀はがきを新規に製作・販売し、PRを行いました。

ア 制作部数：1,000枚

イ 販売局：中信地区郵便局 102局



年賀はがき

2 「近世城郭の天守群」関係自治体による連携事業

(1) 第4回3市市民交流事業

国宝5城による「近世城郭の天守群」での世界遺産登録に関する普及啓発活動として、現在協力している3市（犬山・松江・松本）の市民で、交流及び先進事例を学ぶため講演会や意見交換を行いました。

ア 開催日：8月3日（木）～4日（金）

イ 開催場所：犬山城、犬山市役所（205会議室）

ウ 行程

〈1日目〉城、文化史料館、城下町視察

（公財）白帝文庫 成瀬淳子理事長にご挨拶及びご案内いただきました。

〈2日目〉講演会及び意見交換会

原犬山市長よりご挨拶いただくとともに、講演会を開催しました。

講演会：題名「葦山反射炉、世界遺産になるってよ」

（講師）静岡県伊豆の国市教育委員会

文化財課長 工藤 雄一郎 氏

意見交換会：テーマ「子ども・若者の活動参加促進について」

「外国人向けのガイドについて」

エ 参加数：10名



視察の様子



講演会の様子

(2) SBC信越放送ラジオ「もっとまつもと！」による情報発信

毎月ラジオにて、国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向けた取り組みを紹介するCMを放送し、県民向けに周知啓発を行いました。また、SBC信越放送ラジオ「もっとまつもと！」に出演し、世界遺産の現状や国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向けた取り組みを発信しました。

令和5年度は、姫路市への派遣職員に2度出演してもらい、姫路市の世界遺産登録30周年記念事業のPRも行いました。

ア C M：月2回放送（第1・3月曜日20秒CM）

イ 出 演：全13回（月1回出演、5月のみ2回出演）

ウ 出演者：松本市の職員（姫路市への派遣職員）



番組名

(3) 3市合同床磨き

3市（松本市・犬山市・松江市）が、同日に各城で床磨きを実施し、天守の保存を図るとともに、「近世城郭群の天守群」の世界遺産登録に向けた周知啓発を行いました。

【事前準備】

古城会と実行委員会会員の協力を得て、本丸庭園北側にテントを設置し床磨き道具「たんぽ」を製作しました。

ア 開催日：7月26日（水）

イ 参加数：15名

【当日】

3市長が参加し、松本市と松江市では早朝に大天守他の床磨きを実施しました。犬山市では同日午後に、市内小中学生で構成する「犬山城みらいサポーター」を発足のうえ床磨きを実施しました。

ア 開催日時：8月20日（日）

（松本市では7時30分から30分程度）

イ 参加数：90名



床磨きの様子

(4) 「お城EXPO in 姫路」の視察及び意見交換

姫路城世界遺産登録30周年記念事業「お城EXPO in 姫路」に合わせ開催された「国宝五城サミット」に5市長が出席し、城やまちづくりについてトークセッションが行われました。意見交換により姫路市との交流を図りました。

ア 日 時：9月16日（土）～18日（月）

イ 場 所：姫路市

ウ 内 容：視察及び姫路市職員との意見交換



五城サミットの様子

3 教育活動による普及啓発

これまで取組みが少なかった若年層に対し、事業を通じて、松本城を含む国宝5城による「近世城郭の天守群」世界遺産登録に関する興味を高めました。

(1) (小学生対象) 松本城親子探検ツアー「国宝松本城七不思議」

子どもたちや子育て世代の方に、松本城や他の城に関する知見や愛着を深めてもらうことを目的に開催しました。

ア 日 時：12月2日（土）

イ 参加数：16組35名

ウ 内 容：松本城の七不思議に関する問題を、現存する5つの国宝天守とも比較しながら出題し、松本城の魅力を伝えました。



昨年度の様子

(2) (小学生対象) 松本城検定クイズ

市内小学校へ出向き、松本城や世界遺産に関するクイズを出題することで理解を深めてもらうものです。松本城研究専門員を講師に、松本城や世界遺産、国宝5城に関するクイズを出題し、実行委員会ノベルティを配布しました。

参加数：9校727人

【菅野小学校】

ア 日 時：7月5日（水）

イ 参加者：3年生3クラス94人

【今井小学校】

ア 日 時：8月30日（水）

イ 参加者：3・4年生2クラス43人

【梓川小学校】

ア 日 時：8月31日（木）

イ 参加者：3年生4クラス121人

【清水小学校】

ア 日 時：9月12日（火）、10月31日（火）

イ 参加者：4年生3クラス91人、3年生3クラス108人

【開明小学校】

ア 日 時：9月20日（水）

イ 参加者：3年生3クラス100人

【波田小学校】

ア 日 時：10月17日（火）



昨年度の様子

イ 参加者：3年生4クラス141人

【本郷小学校】

ア 日 時：10月23日（月）

イ 参加者：3年生2クラス62人

【岡田小学校】

ア 日 時：11月7日（火）

イ 参加者：4年生2クラス67人



昨年度の様子

(3) (特別支援学校対象) 松本城検定クイズ

市内外の特別支援学校へ出向き、松本城や世界遺産に関するクイズを出題することで理解を深めてもらうものです。松本城研究専門員を講師に、松本城や世界遺産、国宝5城に関するクイズを出題し、実行委員会ノベルティを配布しました。

【安曇養護学校高等部あづみ野分教室】

ア 日 時：4月28日（金）

イ 参加者：1年生1クラス8人

(4) (小・中学生対象) 第24回国宝松本城絵画コンクールでの情報発信

松本城の写生を通じて、小中学生が松本城への興味関心を深めてもらうためのものです。令和3年度に特別賞として「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会会長賞を設けました。

ア 主 催：松本市、松本市教育委員会、信濃毎日新聞社

イ 特別協力：実行委員会

ウ 開催日時：10月22日（日）

エ 開催場所：松本城周辺

オ 応募数：182点

カ 結 果：入賞36点（特選8点、金賞8点、銀賞8点、銅賞9点、特別賞3点）

入選32点

※ 特別賞は、「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会会長賞 小学生2名、中学生1名が受賞

キ 作品展：1月2日（火）～7日（日）に井上百貨店にて展示



募集チラシ

(5) (高校生・大学生対象) 学生向け出前講座

学生を対象に、松本城の世界遺産登録推進事業についての講座を開催し、理解を深めてもらうことを目的に実施し、ノベルティを配布しました。

【松本城世界遺産登録に向けて（大学生）】

ア 日 時：5月23日（火）

イ 参加者：信州大学生30名

【松本城世界遺産登録に向けて（高校生）】

ア 日 時：10月25日（水）

イ 参加者：蟻ヶ崎高校 5名



出前講座の様子(蟻ヶ崎高校)

4 実行委員会会員向け普及啓発

地域への機運醸成に向け、松本城及び世界遺産に関する知見を深めてもらうため、地域の中心となる町会連合会の理事を対象に説明を行いました。また、町会長全員に「松本城の日新聞」を配布しました。

(1) 日 時：9月13日（松本市町会連合会常任理事会）

(2) 場 所：市役所大会議室

(3) 参加者：34名

5 デジタルを活用した情報発信

若者を主なターゲットとして、SNS等を活用した情報発信することで、本城を含む国宝5城による「近世城郭の天守群」に関する普及啓発を行いました。

(1) 解説動画の配信

ア テーマ：「【徹底解説】松本城、世界遺産登録への道」

イ 内 容：市の公式YouTubeに、世界遺産登録までの流れや現状に関する解説動画を掲載しました。

(2) 信濃毎日新聞デジタル

長野県と連携して信濃毎日新聞社のYouTubeチャンネルに動画を投稿し、世界遺産登録に向けた動きや取り組みについて情報発信を行いました。

ア タイトル：信州の宝を世界遺産に 松本城編
（そうかしんまい）

イ 出 演：長野県教育委員会 文化財・生涯学習課
市川 格（いちかわ ただし）主任指導主事
松本市の職員



(3) 「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会公式SNSでの情報発信

SNSを通じて、松本城を含む国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録へ向けた取り組みを知ってもらうため、昨年から継続して公式SNSで情報発信を行いました。

投稿回数：Instagram 20回

スケッチ 月に1回程度



@MATSUMOTO_CASTLE_WH

6 松本市内35地区への普及啓発事業

市内35地区の市民を対象に、最新の松本城の歴史、国宝5城の現状や世界遺産の現状を説明し、松本城を含む国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向け理解を深め、一層の機運の醸成を図るため講座及び天守を中心とした松本城見学を実施しました。

(平成29年度からの継続事業 22/35地区終了)

【城東地区】

12月12日(火) 講座① 24名

1月23日(火) 講座② 19名

1月31日(水) 松本城見学 23名

【四賀地区】

2月22日(木) 講座 18名

2月29日(木) 松本城見学 18名



昨年度の様子

7 その他の普及啓発

(1) 実行委員会会員とのノベルティ製作における普及啓発

松本城を含む国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録への周知啓発を行うため、会員と関連ノベルティを製作しました。

【松本山雅共同クリアファイル】

ア 製作時期：7月

イ 配布数：500枚

ウ 内容：松本山雅と共同でノベルティ（クリアファイル）を製作し、実行委員会事業時に、子どもたちや市民を中心に配布しました。

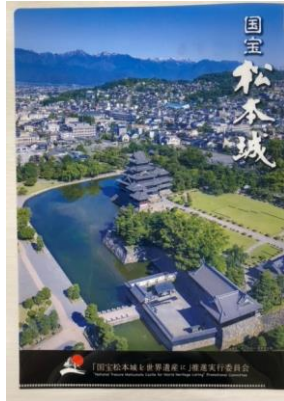
【郵便局共同クリアファイル】

ア 製作時期：3月

イ 配布数：7,000枚

ウ 内容：郵便局と共同でノベルティ（クリアファイル）を製作しました。

今後、「松本城の日」を中心に実行委員会事業時に配布予定です。



郵便局共同クリアファイル
おもて面(左) うら面(右)

8 石川数正・康長親子関連

(1) MGプレスでの連載

ア 連載数：8回

イ 内 容：大河ドラマ「どうする家康」で注目を集めた松本城主「石川親子」に着目し、松本創建に係した2名について連載を行いました。

連載記事



(2) 石川親子マグネットシート

ア 制作数：2,000枚

イ イラストデザイン：一ノ瀬 浩司 氏

ウ 内 容：石川親子のイラストを利用した実行委員会マグネットを製作し、実行委員会事業参加者に配布しました。

マグネットシート



令和5年度収入支出決算書

【令和6年度繰越額】 2,937,482（収入）－2,402,482（支出）＝535,000

<収入>

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
1 負担金	1,950,000	1,950,000	0	松本市、信濃毎日新聞社各50万円、 松本商工会議所、松本古城会各30万円 J A松本ハイランド5万円 信越放送松本放送局30万円
2 寄付金	0	150,000	150,000	信濃毎日新聞社
3 事業収入	0	110,000	110,000	日本郵便（クリアファイル負担金）
3 繰越金	727,470	727,470	0	
4 売上額	5,000	0	-5,000	ピンバッジなど販売
5 雑入	10	12	2	預金利息
収入合計	2,682,480	2,937,482	255,002	

<支出>

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
1 会議費	10,000	3,247	-6,753	総会・役員会飲料代他
2 事業費	2,484,000	2,378,345	-105,655	実行委員会ホームページデータベース制作費（132,000） ホームページ保守管理費（66,000） 松本城・旧開智学校絵画展協賛費（80,000） イコモス年会費（50,000） 5城連携に関わる情報発信事業費（600,000） 「松本城の日」関連事業費（772,545） 会員連携事業費（154,592） MGプレス掲載取材協力費（110,000） クリアファイル制作費（380,490） その他（32,718）
3 事務費	15,000	10,890	-4,110	振込み手数料
4 事務局費	50,000	10,000	-40,000	人件費
5 予備費	123,480	0	-123,480	
支出合計	2,682,480	2,402,482	-279,998	

<残高>

(単位：円)

科目		備考
預金	535,000	R6年度へ繰り越し
現金	0	
残高計	535,000	R6年度へ繰り越し

会計監査報告

令和 6 年 5 月 1 日

「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会
会長 松本市長 臥雲 義尚 殿

監事 長野県経営者協会中信支部長

神澤陸雄 

監事 松本ユネスコ協会会長

志 幾郎 

令和 5 年度「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会の収入支出決算
について監査した結果を、次のとおり報告します。

記

会計帳簿および収入支出状況等、正確で過誤のないことを認めます。

< 監査した帳票類 >

現金出納表 ;

領収証等支払い証明書綴 ;

預金通帳 (八十二銀行 普 802922)

以上

令和6年度事業計画(案)

【事業方針】

国宝松本城の現状としては、令和5年度の来場者数が、コロナ禍前(R元年度)の状況におおむね回復しました。今年のGWの外国人来場者数は、対前年比が151%と過去最多となり、特に欧米からの来場者が増加傾向にあります。

一方、国内の世界遺産登録の現状としては、10月に、ICOMOSにより「彦根城」の事前評価結果が通知されます。松本城の世界遺産登録に向けた今後の取り組み方針にも大きく関わる可能性があることから、彦根市の動向が注目されます。

また、暫定一覧表の見直しに関しては、今年4月に開催された文化庁文化審議会世界文化遺産部会において、10年ぶりに具体的に検討するワーキンググループの設置が決定されたことから、今後大きな動きがあることが想定されます。文化庁の動きがあった際に速やかに対応できるよう、「近世城郭の天守群」に係る調査研究及び普及啓発を引き続き行う必要があります。

今後とも、松本城を含む国宝5城による「近世城郭の天守群」での世界遺産登録を目指すため、世界遺産が地域にもたらすものや登録に向けた取り組み、価値について情報発信事業を一層推進することで、市民及び県民の登録に向けた機運の向上を図ってまいります。併せて、海外からの来場者に向け、「近世城郭の天守群」への理解を深めるための情報発信を行ってまいります。

★新規事業

1 「松本城の日」制定記念事業

(1) 講演会による普及啓発

ア 目的：市民及び県民に対し、「松本城の日」及び松本城の世界遺産登録について広くPRを行うものです。

イ 日程：令和6年11月10日(日)

ウ 内容：各地で世界遺産に関する講演などをされている世界遺産アカデミーの主任研究員 宮澤光氏をお招きし、講演会を開催するものです。

エ テーマ：「(仮)世界遺産とは何か」

(2) 『松本城の日新聞』配布

ア 目的：「松本城の日」PR及び松本城の世界遺産登録について、子どもたちに広く普及啓発を行うものです。

イ 日程：令和6年10月

ウ 内容：MGプレスにて連載した記事を再編集した『松本城の日新聞』を市内中学生に配布し、松本城の日の意味や松本城が現存する意義を周知します。

(3) 『松本城百科』の配布★

- ア 目 的：「松本城の日」について、子どもたちに広く普及啓発を行うものです。
- イ 日 程：令和6年6月～
- ウ 内 容：昨年全面広告として掲載した『松本城百科』を印刷して松本城検定クイズの参加者（市内小学生）に配布し、松本城の日の制定や松本城について興味・関心を喚起します。

(4) 信濃毎日新聞社による広告特集の掲載

- ア 目 的：「松本城の日」について、県民に広く周知するものです。
- イ 日 程：令和6年11月10日（日）
- ウ 内 容：協賛いただける企業を募り、当日の朝刊に広告を掲載し、松本城の日の制定について県民の関心を喚起します。

(5) パネル展示による普及啓発

- ア 目 的：世界遺産周知用パネルを展示し、松本城や世界遺産について周知啓発を図るものです。
- イ 日 程：令和6年11月
- ウ 内 容：「松本城の日」を中心に、イベント会場や信毎メディアガーデンなどに松本城や国宝5城、世界遺産に関するパネルを展示するものです。

2 「近世城郭の天守群」関係自治体による連携事業

(1) 第5回3市市民交流事業（姫路市開催）★

国宝5城による「近世城郭の天守群」での世界遺産登録に関する普及啓発活動として、現在協力している3市（犬山・松江・松本）の市民で、交流及び先進事例を学ぶ勉強会を開催します。今年は3市で初めて姫路城を視察し、意見交換などを行い姫路市との官民交流を図ります。将来、3市共同での普及啓発活動を目指します。

- ア 日 時：令和6年10～11月
- イ 場 所：姫路市
- ウ 内 容：
- （1日目）城視察、姫路市の事例発表
- （2日目）勉強会及び意見交換会



昨年度の様子

(2) SBC信越放送ラジオ「もっとまつもと！」による情報発信

- ア 目 的：ラジオメディアの特性を活かして県内へ継続して情報発信するものです。
- イ 日 程：月1回程度
- ウ 内 容：ラジオにて国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向けた取組みを紹介するCMを放送し、県民向けに周知啓発を行います。

また、SBC信越放送ラジオ「もっとまつもと！」に出演し、世界遺産の現状や松本城を含む国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向けた取組みを発信します。各城からも出演してもらい、各城の生の声をお届けします。

(3) 国宝5城合同床磨き

ア 目 的：国宝5城連携の取り組みとして、5市が同日に共同事業を行い、広く情報発信を行います。「近世城郭群の天守群」の世界遺産登録に向け、合わせて情報発信を行います。

イ 日 程：令和6年7～8月

ウ 内 容：国宝5城（松本城・姫路城・彦根城・犬山城・松江城）で同日に実施予定の各城の床磨きに、実行委員会として参加します。各天守の保存を図るとともに、世界遺産登録の一助とするものです。



昨年度の様子
(3市合同)

(4) 「近世城郭の天守群」に関する多言語パンフレット制作 ★

ア 目 的：海外からの来場者に向け、「近世城郭の天守群」での世界遺産登録を目指していることについて普及啓発を行うものです。

イ 日 程：令和6年11月以降

ウ 内 容：「近世城郭の天守群」について周知するパンフレット（英日版）を制作しイベント等で松本城来場者に配布します。

(5) 「お城EXPO in 坂井（丸岡城）」の視察及び普及啓発★

「お城EXPO in 坂井」で、松本城世界遺産登録に向けノベルティ配布によるPRを行います。また、令和7年度に松江市での開催が見込まれることから、開催時の連携に向け視察するものです。

ア 日 時：令和6年10月12日（土）～13日（日）

イ 場 所：福井県坂井市

ウ 内 容：「お城EXPO in 坂井」の視察及びノベルティ配布

3 教育活動による普及啓発

これまで取組みが弱かった若年層に対し、松本城を含む国宝5城による「近世城郭の
天守群」の世界遺産登録に関する興味を高めるものです。

(1) (年少～小学生対象) 松本城親子探検ツアー「国宝5城特別編」

子どもたちや子育て世代の方に、松本城や他の城に関する知見や愛着を深めてもらう
ことを目的に開催します。

ア 日 程：令和6年11月～12月

イ 参加数：30名～40名

ウ 内 容：松本城の七不思議に関する問題を、現存
する5つの国宝天守とも比較しながら出題
し、松本城の魅力を伝えます。



昨年度の様子

(2) (小学生対象) 松本城検定クイズ

市内小学校へ出向き、松本城や世界遺産に関するクイズを出題することで理解を深
めてもらうものです。松本城研究専門員を講師に、松本城や世界遺産、国宝5城に関す
るクイズを出題し、実行委員会ノベルティを配布します。

ア 日 程：通年

イ 場 所：各学校

ウ 内 容：城及び世界遺産に関するクイズ25問を出題し、子ども達に楽しく城や世
界遺産について学んでもらうものです。

(3) (特別支援学校対象) 松本城検定クイズ

市内外の特別支援学校へ出向き、松本城や世界遺産に関するクイズを出題すること
で理解を深めてもらうものです。松本城研究専門員を講師に、松本城や世界遺産、国宝
5城に関するクイズを出題し、実行委員会ノベルティを配布します。

ア 日 程：通年

イ 場 所：各学校

ウ 内 容：城及び世界遺産に関するクイズを30問弱出題し、子どもたちに楽しく
城や世界遺産について学んでもらうものです。

(4) (小・中学生対象) 第25回国宝松本城絵画コンクールでの情報発信

松本城の写生を通じて、小中学生が松本城への興味関心を深めてもらうためのもの
です。

ア 主 催：松本市、松本市教育委員会、信濃毎日新聞社

イ 特別協力：実行委員会

ウ 開 催 日：令和6年10月末

エ 開催場所：松本城周辺

オ 内 容：優秀な作品には、賞状と記念品が贈呈されます。なお、令和３年度から「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会会長賞を設けました。

(5) (高校生・大学生対象) 学生向け出前講座

- ア 目 的：これまで取組みが少なかった若年層に対し、松本城を含む国宝５城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に関する興味を高めるものです。
- イ 日 程：随時（年１～２回程度）
- ウ 内 容：信州大学主催の寄付講座にて、信州大学の学生を対象に松本城・国宝５城や世界遺産に関する情報提供を行います。

4 デジタルを活用した情報発信

若者を主なターゲットとして、デジタルを活用し情報発信することで、本城を含む国宝５城による「近世城郭の天守群」の普及啓発を行います。

(1) 市民応援動画による情報発信

- ア 目 的：松本城の思い出や世界遺産登録に関する松本市民出演動画を撮影及び発信することで普及啓発を行うものです。
- イ 日 程：令和６年８月以降
- ウ 内 容：松本市民を対象に、松本城の思い出や世界遺産登録への応援メッセージを撮影し、市公式ＳＮＳ等に掲載します。

(2) 実行委員会公式ＳＮＳでの情報発信

- ア 目 的：若者を中心に、より多くの人々がＳＮＳを閲覧し、松本城を含む国宝５城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録へ向けた取り組みを知ってもらうことを目指します。
- イ 日 程：通年
- ウ 内 容：松本市、国宝松本城及び実行委員会の公式ＳＮＳに、実行委員会の事業報告や松本城及び世界遺産に関する写真及び文章を掲載します。

5 松本市内35地区への普及啓発事業

平成２９年度から実施している地区公民館及び町会、文化財課と連携して行っている普及啓発事業です。

- ア 目 的：各地区に出向き、松本城の歴史や国宝５城の現状、世界遺産の現状を説明し、松本城を含む国宝５城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向け理解を深め、一層の機運の醸成を図るものです。
- イ 日 程：令和６年秋頃
- ウ 内 容：市内３５地区の市民を対象に、地区公民館や町会と連携し、松本城や国宝５城に関する座学及び松本城天守の見学を実施するものです。

6 その他の普及啓発

(1) 世界遺産シンポジウム等による普及啓発

ア 目 的：世界遺産登録に向けた情報発信や市民の機運向上を図るものです。

イ 日 程：令和7年2月

ウ 内 容：平成24年から継続的に実施しているもので、著名人又は専門家を招き城や世界遺産に関するシンポジウム等を開催します。

(2) ノベルティ製作における普及啓発

ア 目 的：実行委員会会員と共同で普及啓発ノベルティを製作し、市内を中心に普及啓発グッズを配布することで、松本城を含む国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録への周知啓発を図るものです。

イ 日 程：6月以降

ウ 内 容：会員企業等と連携して普及啓発グッズを製作し、市内の小学校等で配布します。

エ 過去実績：平成30年 信濃毎日新聞社

令和 元年 J R東日本株式会社

3年 アルピコホールディングス株式会社（アルピコ交通）

4年 株式会社松本山雅

5年 日本郵便株式会社、株式会社松本山雅

令和6年度収入支出予算書(案)

<収入>

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
1 負担金	1,950,000	1,950,000	0	松本市、信濃毎日新聞社各50万円、 松本商工会議所、松本古城会各30万円 J A松本ハイランド5万円 信越放送松本放送局30万円
2 繰越金	535,000	727,470	-192,470	
3 売上額	5,000	5,000	0	ピンバッジなど販売
4 雑入	10	10	0	預金利息
収入合計	2,490,010	2,682,480	-192,470	

<支出>

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
1 会議費	6,000	10,000	-4,000	総会・役員会飲料代他
2 事業費	2,413,000	2,484,000	-71,000	実行委員会ホームページ更新保守管理費(66,000) ホームページデータベース制作費(132,000) 松本城・旧開智学校絵画展協賛費(80,000) イコモス年会費(50,000) 「松本城の日」関連事業費(800,000) 5城連携に係わる情報発信事業費(550,000) 会員連携事業費(335,000) 世界遺産シンポジウム開催費(400,000)
3 事務費	15,000	15,000	0	振込み手数料他
4 事務局費	20,000	50,000	-30,000	人件費
5 予備費	36,010	123,480	-87,470	
支出合計	2,490,010	2,682,480	-192,470	

資 料

1	「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会、松本市の活動 経過及び日本国内の世界遺産に関する動向	P 2 4
2	日本の世界遺産	P 2 7
3	世界遺産登録の流れ	P 2 9
4	松本城及び世界遺産推進運動等に関する信濃毎日新聞記事	P 3 0
5	国際連合教育科学文化機関憲章（ユネスコ憲章）	P 3 6
6	「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会規約	P 3 7
7	令和6年度「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会 構成団体名簿	P 3 9

「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会、松本市の活動経過 及び日本国内の世界遺産に関する動向

1 世界遺産登録への取組み

(1) 令和5年度 松本市及び近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会の取組み

本市では、関係市と近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会（以下「準備会」）を設置し国宝5城による「近世城郭の天守群」の登録を目指し、調査研究を実施しました。

ア 準備会で、総会を1回、ワークショップを1回、世界遺産及び城郭の専門家によるワーキンググループを3回開催しました。

イ 7月に3県（長野県・愛知県・島根県）3市（松本市・犬山市・松江市）担当者による松本城視察及び担当者会議を行いました。

ウ 8月に3市長と専門家（西村幸夫先生）による意見交換会を行いました。

エ 10月に中国で開催された国際学術委員会（ICOFORT）の会議に参加し、中国における類似資産の調査を行いました。

オ 11月に3市担当者による彦根城視察及び滋賀県・彦根市担当者との意見交換会を行いました。

カ 3月に3市担当者による姫路市担当者との意見交換会を行いました。

【これまでの経過】

平成18年11月 松本市は長野県と共同で、国連教育科学文化機関（ユネスコ）に提出する世界遺産登録の国内候補を載せた「暫定一覧表（リスト）」に国宝松本城を推薦する提案書を文化庁に提出しました。（審議結果：継続審議案件）

19年12月 長野県と松本市が、再提案書及び「姫路城を中心とした日本の近世城郭群」で研究を進めることを含む検討状況報告書を提出、平成20年3月に世界文化遺産特別委員会ワーキンググループのヒアリングを受けました。

20年 1月 松本市長と彦根市長・犬山市長との間で、今後「近世城郭群」で研究を進めることの合意が得られ、3月に事務レベル会議を開催しました。

9月 再提案書及び検討状況報告書（平成19年12月提出）に対し、文化庁文化審議会文化財分科会世界遺産特別委員会から「カテゴリーⅠbに該当」との審議結果を受けました。

23年 3月 3市（松本市・彦根市・犬山市）で（仮称）国宝四城世界遺産登録推進会議準備会を設置しました。

28年 3月 長野県教育委員会事務局（文化財・生涯学習課）と、第1回（仮称）

松本城世界遺産調査研究に係る連絡会議を設置しました。

29年 9月 日本イコモス国内委員会理事等との意見交換会を開催しました。

30年 6月 3市長（松本市・犬山市・松江市）で文化庁に要望書を提出しました。

10月 ICOFORT国際会議2018 in 彦根の学術セッションにて3市（松本市・犬山市・松江市）が発表しました。

10月 ICOFORT委員長等との意見交換会（「近世城郭の天守群」の価値を検討する国際専門家会議）を初開催しました。

令和 元年 8月 準備会のワークショップを初開催しました。

9月 ICOFORT国際会議2019 in 瀋陽（中国）に参加し、学術セッションにて、「近世城郭の天守群と世界遺産登録推進プロジェクト」について説明を行いました。

10月 文化庁が「我が国における世界文化遺産の現状・課題等に関する調査について」という調査を実施し、3市（松本市・犬山市・松江市）で回答を作成し、長野県・松本市の共同で回答しました。

2年 7月 松本市長が姫路市を表敬訪問し、世界遺産登録に向けた取り組みを報告しました。

12月 準備会の令和元年度事業及び調査研究結果について、3県3市（長野県・愛知県・島根県・松本市・犬山市・松江市）で文化庁へ報告しました（愛知県、島根県がオブザーバーとして初参加）。

3年 6月 3市長（松本市・犬山市・松江市）が丹羽文部科学省副大臣へ表敬しました。

3月 文化庁へ「近世城郭の天守群」提案書（頭紙2月25日付）を提出しました。

4年 6月 全国市長会に合わせて3市長（松本市・犬山市・松江市）懇談を行いました。

11月 3市長（松本市・犬山市・松江市）による姫路市長表敬を行いました。

3月 犬山市にて3市長（松本市・犬山市・松江市）懇談を行いました。

5年 8月 3市長（松本市・犬山市・松江市）と専門家の意見交換会を行いました。

10月 ICOFORT国際会議2023 in 南京に参加し、合わせて類似資産の調査を行いました。

12月 文化庁調査官と3県3市（長野県・愛知県・島根県・松本市・犬山市・松江市）で協議を行いました。

※ ICOFORTとは、ユネスコ世界遺産の答申等を行う「イコモス」の国際学術委員会の一つ。世界各地に残されている城郭、要塞等の歴史評価、遺産としての価値づけ、保存活用などをめぐる活動を行っている。

2 世界遺産に関わる調査及び研究活動

(1) 国際記念物遺跡会議（イコモス）及びユネスコ等の動向

ア 令和5年9月にサウジアラビアのリヤドで第45回世界遺産委員会が開催され、ウクライナ侵攻の影響で無期限延期となっていた世界遺産委員会が再開しました。

イ 令和6年7月にインドのニューデリーで第46回世界遺産委員会の開催が予定されており、日本政府が推薦を行った「佐渡島の金山」の世界遺産登録が審議される見込みです。

(2) 国内他地域の動向

ア 武家の古都・鎌倉（平成4年暫定リスト記載）

令和元年から登録推進活動を休止しており、事実上断念との見方も出ています。

イ 彦根城（平成4年暫定リスト記載）

彦根城は暫定一覧表に記載されてから長期間が経過しており、日本国政府による推薦の可否を含め検討を行うため、令和5年9月にユネスコにおいて導入された事前評価制度に申請しました。令和6年10月には事前評価結果が通知される予定となっています。

ウ 飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群（平成19年暫定リスト記載）

令和5年7月に文化庁から、文化財指定が不十分である等の課題あることが示されましたが、令和6年4月には文化庁へ推薦書素案が提出され、令和6年度推薦資産の有力候補と考えられています。

エ 佐渡島の金山（平成22年暫定リスト記載）

令和5年8月にイコモスによる現地調査が終了し、順調に進めば令和6年7月の世界遺産委員会で世界遺産登録が決定する見込みとなっています。

オ 平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群(拡張)

(平成24年暫定リスト記載)

「平泉」は、平成23年の世界遺産登録時に含めることができなかった資産について拡張登録を目指しています。令和6年度中に推薦書素案を作成する方針で取組みが進められています。

(3) 日本イコモス国内委員会の継続会員

維持会員として、日本イコモス国内委員会及びイコモス（国際記念物遺跡会議）、並びに日本ユネスコ協会連盟が行う世界遺産保護、文化財保護活動に協力しました。

日本の世界遺産

1 文化遺産 20件

(2024年5月現在)

No.	登録遺産名	登録年	該当基準
1	法隆寺地域の仏教建造物	1993	(i)(ii)(iv)(vi)
2	姫路城	1993	(i)(iv)
3	古都京都の文化財	1994	(ii)(iv)
4	白川郷・五箇山の合掌造り集落	1995	(iv)(v)
5	原爆ドーム	1996	(vi)
6	厳島神社	1996	(i)(ii)(iv)(vi)
7	古都奈良の文化財	1998	(ii)(iii)(iv)(vi)
8	日光の社寺	1999	(i)(iv)(vi)
9	琉球王国のグスク及び関連遺産群	2000	(ii)(iii)(vi)
10	紀伊山地の霊場と参詣道	2004	(ii)(iii)(iv)(vi)
11	石見銀山の銀鉱遺跡とその文化的景観	2007	(ii)(iii)(v)
12	平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園 及び考古学的遺跡群 -	2011	(ii)(vi)
13	富士山-信仰の対象と芸術の源泉-	2013	(iii)(vi)
14	富岡製糸場と絹産業遺産群	2014	(ii)(vi)
15	明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、 石炭産業	2015	(ii)(iv)
16	ル・コルビュジエの建築作品 -近代建築運動への顕著な貢献-	2016	(i)(ii)(vi)
17	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	2017	(ii)(iii)
18	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	2018	(iii)
19	百舌鳥・古市古墳群	2019	(iii)(iv)
20	北海道・北東北の縄文遺跡群	2021	(iii)(v)

2 自然遺産 5件

No.	登録遺産名	登録年	該当基準
1	屋久島	1993	(vii)(ix)
2	白神山地	1993	(ix)
3	知床	2005	(ix)(x)
4	小笠原諸島	2011	(ix)
5	奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島	2021	(x)

3 暫定一覧表登録 <文化遺産5件>

「彦根城」	(滋賀県、平成4年 1992)
「古都鎌倉の寺院・神社ほか」	(神奈川県、平成4年 1992)
「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」	(奈良県、平成19年 2007)
「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」	(新潟県、平成22年 2010)
「平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-」【拡張】	(岩手県、平成24年 2012)

4 世界遺産暫定一覧表候補(カテゴリーⅠ)の文化資産 (文化庁資料より抜粋)
<カテゴリーⅠ> 13件

- a) 提案書の基本的主題を基に準備を進めるべきもの
- 「最上川の文化的景観－舟運と水が育んだ農と祈り，豊饒な大地－」(山形県)
 - 「天橋立－日本の文化景観の原点」(京都府)
 - 「錦帯橋と岩国の町割」(山口県)
 - 「四国八十八箇所霊場と遍路道」(徳島、高知、愛媛、香川県)
 - 「阿蘇－火山との共生とその文化的景観」(熊本県)
- b) 当面、主題に関する学術的な調査研究を十分に行い、主題及びこれに基づく資産構成に関して一定の方向性が見えた段階で準備を進めるべきもの

[近世の城郭・城下町関連の文化資産]※

- 「城下町金沢の文化遺産群と文化的景観」(石川県)
- 「**松本城**」(長野県)
- 「萩－日本の近世社会を切り拓いた城下町の顕著な都市遺産－」(山口県)

※ 「城下町金沢の文化遺産群と文化的景観」、「松本城」、「萩－日本の近世社会を切り拓いた城下町の顕著な都市遺産」は、いずれも近世の城郭あるいは城下町に関連する主題による提案であり、他の同種資産と組み合わせることにより、顕著な普遍的価値を証明し得る可能性について検討すべきものとして評価できるため、「カテゴリーⅠ」に該当するものとした。

[近世の社寺とその門前町関連の文化資産]

- 「善光寺と門前町」(長野県)

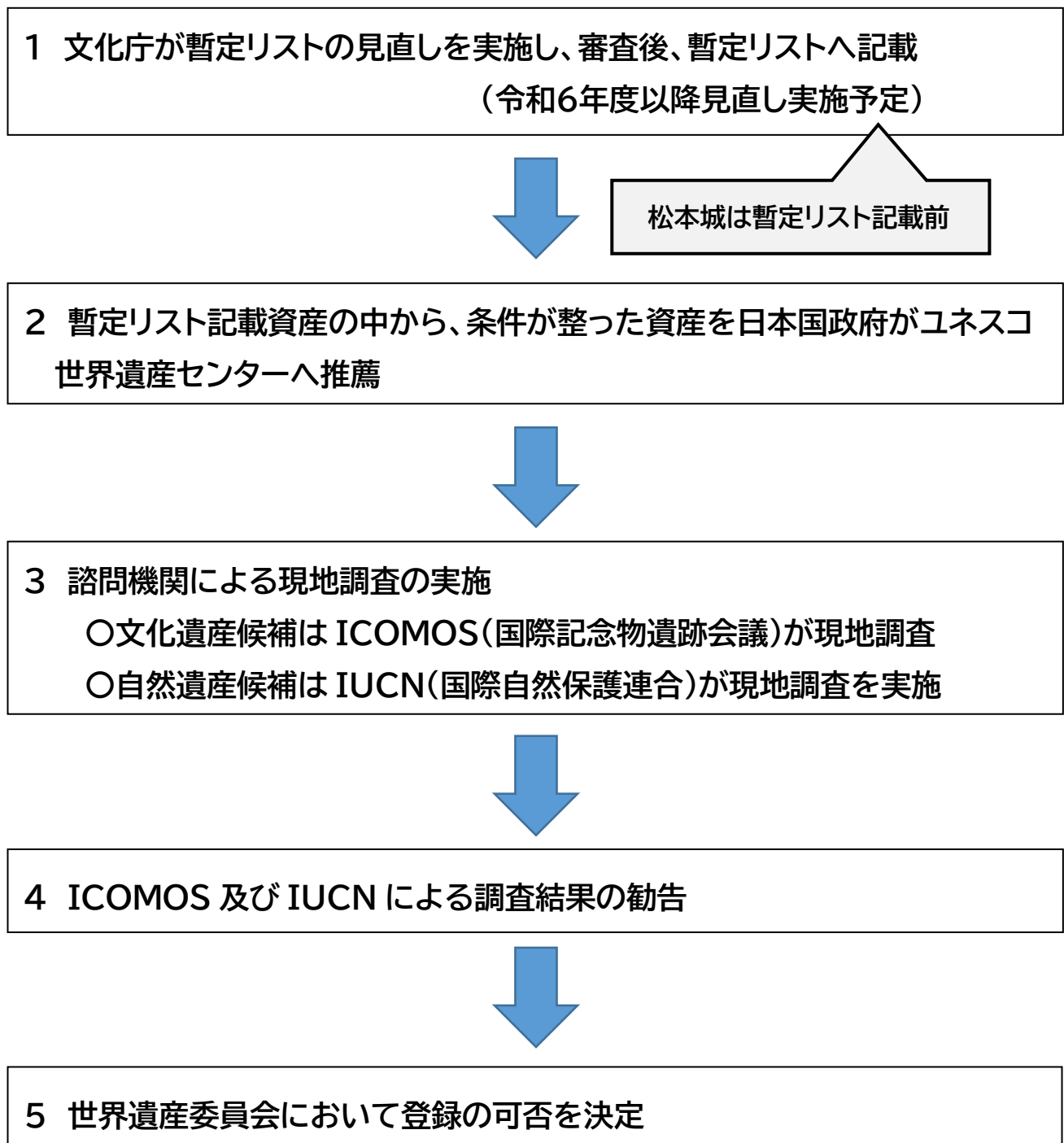
[近世の教育資産]

- 「水戸藩の学問・教育遺産群」(茨城県)
- 「足利学校と足利氏の遺産」(栃木県)
- 「近世岡山の文化・土木遺産群－岡山藩郡代津田永忠の事績－」(岡山県)

[近世の街道と宿場町関連の文化資産]

- 「妻籠宿・馬籠宿と中山道－『夜明け前』の世界－」(長野県、岐阜県)

世界遺産登録の流れ



- 登録されるためには、世界遺産に必要な価値(顕著な普遍的価値をもつことや評価基準を満たしていること)が前提
- また、登録された後、将来にわたって継承していくための法的保護や保存管理の状況なども条件となる

松本城及び世界遺産推進運動等に関する信濃毎日新聞記事（抜粋）

松本城床磨き、来月再開 市、「文化財守る機運を」
2023（令和5）年5月18日（木） 朝刊

松本市は、公募の市民による国宝松本城の床磨きを6月に再開する。新型コロナの感染防止のため、2019年9月を最後に休止していた。9月まで計6回開く予定で、参加者を募集中。市は、改めて地元の城に愛着を持ってもらい、文化財を守る機運を高めていきたいとしている。

床磨きや庭の手入れなどは市民団体「松本古城会」などのボランティア有志らが数十年にわたり続けている。床磨きは、松本城の世界遺産登録を目指す運動でも市民が主体となる活動の一つとして評価されており、ともに世界遺産登録を目指す犬山城（愛知県犬山市）の関係者も視察に訪れている。

市主催の床磨きを休止した4年間は、市職員による清掃や委託業者の管理などで対応してきた。劣化など目立つ変化はないものの、市松本城管理課の担当者は「床磨きは文化財の価値や保全意識を身近に感じる大切な機会」と強調。外国人をはじめとする観光客が戻りつつある状況もあり、地元で文化財を守っていく姿勢も発信したいという。

床磨きは天守を中心に約30分行う予定で、城の歴史についての解説もある。小中学生の部は6月10日、7月8日、9月9日のいずれも午前7時半から、一般の部は6月21日、7月12日、9月6日のいずれも午後5時から。各日定員の50人に達し次第締め切る。松本城の公式ホームページからか、6人以上の団体は電話で同課に申し込む。

天守守った市川量造をPRへ 「松本城を世界遺産に」実行委
2023（令和5）年6月3日（土） 朝刊

松本市や信濃毎日新聞社など68団体でつくる「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会は2日、市内で総会を開き、本年度事業を決めた。制定後2度目の「松本城の日」（11月10日）に合わせ、天守を守った市川量造（1844～1908年）の子孫を招いた講演会を開くなど世界遺産登録に向けて機運を高める。

文化庁は2021年、世界遺産の国内候補「暫定リスト」の見直しを公表。リスト入りを目指す松本城は準備を加速させたものの、ロシアのウクライナ侵攻の影響などで先行きは不透明になっている。

総会では、文化庁に動きがあった場合に即応できるよう準備を続けると確認した。具体的な事業では、明治初期に売却、解体されそうになった天守を買い戻す運動をした市川量造の功績を伝える講演会を開催する他、築城に貢献し、NHK大河ドラマにも登場する石川数正と子の康長に関する催しや情報発信を強める。

ともに国宝の姫路城、犬山城、松江城、彦根城との連携も強化する。姫路城の世界遺産登録30周年を祝う姫路市の催し「お城EXPO」（9月）で5市の市長が一堂に会して懇談。犬山、松江市とは同じ日に各城の床磨きを実施する。

松本城床磨き、道具手作り 来月、犬山城・松江城と同時実施
2023（令和5）年7月27日（木） 朝刊

松本市や信濃毎日新聞社などで行う「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会は26日、松本城の床磨きに使う道具を手作りした。共に世界遺産登録を目指す犬山城（愛知県犬山市）、松江城（松江市）と初めての「3城一斉床磨き」を8月20日に予定しており、念入りに準備した。

市民による床磨きは松本城で数十年続く取り組み。世界遺産登録に向けて協力する犬山城、松江城でも「松本発」の活動を連携して行い、市民の機運を盛り上げようと同じ日の床磨きを企画した。

手作りした道具は米ぬかと砕いたクルミを布で包んだ「たんぼ」。適度な油分が床につやを与えるという。この日は実行委に加盟する「松本古城会」のメンバーら15人が、「ぬかとクルミを握ってまとめるのに力がある」と苦戦しつつ、100個ほどを作り上げた。

古城会の赤羽郁夫会長（71）は「子どもも参加する床磨きは、文化財を身近に感じる機会。こうした取り組みを3市に広げるのは大切なことだ」と話していた。

世界遺産目指し合同床磨き 松本城・犬山城・松江城 松本では100人参加
2023（令和5）年8月21日（月） 朝刊

いずれも国宝で、連携して世界遺産登録を目指す松本城（松本市）、犬山城（愛知県犬山市）、松江城（松江市）の地元住民らの団体が20日、それぞれの城の床を磨く「合同床磨き」をした。松本城で30年余り続く市民参加の床磨きを他の城でも取り入れ、世界遺産登録の機運を高める狙いで初めて開いた。

松本城では、松本市や信濃毎日新聞社などで行う「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会の会員や家族ら約100人が参加。午前7時半過ぎから約30分間、米ぬかと砕いたクルミを布で包んだ「たんぼ」で床を磨いた。高齢者も子どもも汗をぬぐいながら作業をしていた。

3歳の孫と参加した同市平田東の会社員武井ゆりえさん（54）は「世界遺産に登録されれば世界の注目を集める。孫の世代には登録され、観光地としてさらに発展してほしい」と話した。実行委によると、犬山城では約60人、松江城では約70人が参加した。

松本城「5城で世界遺産」注力 松本で犬山、松江と3市長会談 2023（令和5）年8月26日（土） 朝刊

国宝天守の松本城、犬山城、松江城がある、松本市の臥雲義尚市長、愛知県犬山市の原欣伸市長、松江市の上定昭仁市長が25日、松本市役所で懇談した。専門家の助言で、姫路城（兵庫県姫路市）と彦根城（滋賀県彦根市）を加えた「近世城郭の天守群」として一括で世界遺産登録される可能性を改めて確認したとし、国内候補が選定されるここ1、2年は重点的に活動を進めることで一致した。

3市のトップ会談は3月以来。国連教育科学文化機関（ユネスコ）の諮問機関・国際記念物遺跡会議（イコモス）国内委員長を務めた経験がある西村幸夫・国学院大教授を初めて講師に招いた。

一部非公開。終了後の取材などによると西村氏は、既に世界遺産の姫路城、国内候補入りした彦根城を念頭に「単独で登録されていても、その後に重複で登録された例がある」と解説。先行した形の姫路、彦根と連携を深めるヒントになる一と指摘した。

取材に対し、上定市長は「協力関係を3市から5市に広げたい」、原市長は「3市の宝から、世界の宝へと手を伸ばしたい」。臥雲市長は、5城の特徴を「約500年という短い間にできた貴重な木造建築で、戦乱から平和の時代への移行期を映している」と説明。5城一体での登録に向け、「こうした世界に通じる『ストーリー』を練り上げていきたい」と述べた。

お城E X P O 松本城も紹介 兵庫・姫路 2023（令和5）年9月17日（日） 朝刊

松本市をはじめ、日本各地の城がある自治体関係者らが集まるイベント「お城E X P O」が16日、国宝姫路城を有する兵庫県姫路市で開かれた。姫路での開催は初めて。松本市の臥雲義尚市長を含め、国宝の城がある5市長が出席し、城の魅力などを紹介した。

国宝姫路城の世界遺産登録30周年を記念し、市などが企画。18日までの3日間で1万2千人の来場を見込む。16日のトークショーには松本市の他、姫路市、愛知県犬山市、滋賀県彦根市、松江市の各市長が登壇した。

松本と犬山、松江の3市長は合同で城の世界遺産登録を目指しており、8月20日には住民らがそれぞれの城の床を磨くイベントを開催。臥雲市長は「美しさは維持しつつ、若い世代も城を楽しめるようにしたい」と語った。

松本城天守守った市川量造 ひ孫ら招き講演会 市民ら100人耳傾け 2023（令和5）年10月24日（火） 朝刊

松本市や信濃毎日新聞社など68団体でつくる「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会は22日、天守を守った市川量造（1844～1908年）のひ孫、市川量一さん（80）＝東京＝らを招いた講演会を市立博物館で開いた。制定後2度目の「松本城の日」（11月10日）と同館開館に合わせて企画。市民ら約100人が耳を傾けた。

量造は同市出身。明治初期に民間に払い下げとなり解体されかけた天守を保存するため、城を会場に博覧会を開き、収益金などで天守を買い戻す運動をした。量一さんは、量造が明治維新後、松本で教育や新聞、鉄道などの発展に力を注いだことを説明。「原動力になったのは松本への愛。松本城は市民が守った市民のお城で、全国的にも珍しい」と話した。

松本城管理事務所の元研究専門員で同市の青木教司さん（81）は、量造が地域の発展のために古いものを大切に天守を守ったことなどを紹介した。松本城を案内するボランティアをしている市内の小岩井定男さん（73）は2人の講演を聞き、「量造が松本を愛していろいろな事業を興したことが分かった。今までよりも肉付けして話ができそう」と話していた。

松本城検定クイズに挑む 松本・岡田小児童、楽しく学習 2023（令和5）年11月8日（水） 朝刊

松本市岡田小学校の4年生約60人は7日、市や信濃毎日新聞社などでつくる「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会が企画した「国宝松本城検定クイズ」に挑戦した。市文化財課の松本城研究専門員が問題を作成。歴史や天守について解説しながら計25問を出し、児童たちは城への理解を深めた。

4年生は22日に社会科見学で城を訪れる。専門員が教室のスクリーンに城や堀の写真などを映し出し、「天守の建物はいくつ？」「1、2階の壁の厚さはどのくらい？」などと出題。児童は頭を悩ませながら、ヒントも参考に選択問題を考えた。正解すると「やった」と声を上げたりガッツポーズをしたりして喜んだ。

全問正解した佐藤咲良さん（10）は昨年転校してきたばかり。「もともと松本の人じゃないけど、ヒントをよく聞いていたら分かった。御殿があった場所を見てみたい」と話していた。クイズは城を世界遺産にする機運を高める目的で2009年から毎年実施。今年は約10校で行う。

「松本城の日」記念の切手 木版画で四季の情景 きょう発売
2023（令和5）年11月10日（金） 朝刊

「松本城の日」の10日、日本郵便信越支社（長野市）が記念切手シートを発売する。四季折々の情景や北アルプスを背景に映える松本城を版画で表現している。

84円切手の10枚組みで、税込み1330円。昨年に続く販売で、デザインも松本市の木版画家塩入久さんが引き続き担当した。メインの絵柄は漆黒の松本城を際立たせるため色数を抑えた。桜、紅葉、雪と共演する城の姿も描いている。担当の池口亮吉・大桑郵便局長は「世界遺産登録を目指す地元の盛り上げの一助になればいい」と話している。

1100セット限定。10日午前9時～午後3時に松本城公園入り口に販売ブースを設ける。同日から市内全41の郵便局でも販売。15日以降は日本郵便のウェブサイトでも扱う。

松本城を世界遺産に PRグッズ無料配布 推進実行委がきょう
2023（令和5）年11月10日（金） 朝刊

松本市や信濃毎日新聞社などで作る「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会は10日、「松本城の日」に合わせ、城の特製紙ファイルやメモ帳などを限定300セット無料配布する。午前8時半から松本城公園で市民や観光客に配り、世界遺産登録を目指していることをPRする狙い。

NHK大河ドラマ「どうする家康」で初代城主・石川数正が注目を集めていることから、数正・康長親子のイラストをあしらったマグネットを作成。ファイルには明治初期に天守を解体の危機から守った市川量造（1844～1908年）の功績などの紹介文をプリントしている。松本城の日は、市民公募で市などが昨年独自に制定した。

市は今月3～10日、松本城を楽しみながら学ぶ「国宝松本城Week（ウィーク）」を開催。3～5日の3連休、城の有料入場者数は2万253人で、新型コロナ前の2019年同時期（2～4日）の1万9280人を973人上回った。

国宝松本城絵画コンクール審査会 入賞36点・入選32点決まる
2023（令和5）年12月2日（土） 朝刊

第24回国宝松本城絵画コンクール（松本市、市教育委員会、信濃毎日新聞社主催）の審査会は11月30日、松本市中央2の信毎メディアガーデンで開いた。中信地域の小中学生が郵送したり、写生大会に参加したりして集まった182点の中から入賞36点、入選32点を選んだ。審査した市美術教育研究会会員で、同市芳川小学校の赤羽洋一郎教頭（52）は「形や色に感性が表現されていて、

松本城への愛着も伝わる」と話していた。応募全作品は来年1月2～7日に井上百貨店で展示する。

なぜ？を探訪 松本城ツアー 急な階段、柱の傷、薄暗さ…
2023（令和5）年12月3日（日） 朝刊

松本市の松本城で2日、クイズを解きながら城の特徴や歴史を学ぶ恒例の「『国宝松本城七不思議』親子探検ツアー」があった。市や信濃毎日新聞社などで行く「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会が主催。地元の小学生や保護者ら計32人が、城の研究専門員らの案内で城を巡って理解を深めた。

参加者は3グループに分かれて見学しながら、「大天守4階から5階に上がる階段が急なのはなぜ？」「5階の柱の傷にまつわる伝説」といった「七不思議」に絡む3択クイズに挑戦。普段は入ることのできない3階部分にも入り、薄暗さを体感しながら「どうして暗い？」の答えを考えた。子どもよりも夢中になって研究専門員に質問する保護者もいた。

見学後に全員で答え合わせをし、市担当者は「松本にとって大事な文化財なので、お城に詳しくなってほしい」と語りかけた。初めて松本城に登ったという同市並柳小学校3年の川井悠風（ゆうな）君（9）は「松本城のことをもっと知りたくなった」と話していた。

松本城を世界遺産に 本社が実行委に寄付
2023（令和5）年12月16日（土） 朝刊

信濃毎日新聞社は15日、国宝松本城（松本市）の世界文化遺産登録に向けた運動に役立ててほしいと、市などで行く「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会に15万円を寄付した。竹内克彦・松本本社営業部長が市役所を訪ね、清沢明子・文化振興課長に目録を手渡した。

寄付は11月10日の「松本城の日」をPRする新聞広告への協賛金の一部。全面広告の大型パネルも作り、松本城黒門前などに置いた。同日付全面広告では「松本城百科」と題して城に関わる人物や用語を五十音順で解説し、56の協賛企業・団体名も掲載した。

清沢課長は「寄付は登録に向けた取り組みに活用していきたい」と話した。

国際連合教育科学文化機関憲章（ユネスコ憲章）

前文

この憲章の当事国政府は、その国民に代って次のとおり宣言する。

戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

ここに終りを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、これらの原理の代りに、無知と偏見を通じて人間と人種の不平等という教義をひろめることによって可能にされた戦争であった。

文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、且つすべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神をもって果さなければならない神聖な義務である。

政府の政治的及び経済的取極のみに基く平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって平和は、失われないためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない。

これらの理由によって、この憲章の当事国は、すべての人に教育の充分で平等な機会が与えられ、客観的真理が拘束を受けずに探究され、且つ、思想と知識が自由に交換されるべきことを信じて、その国民の間における伝達の方法を発展させ及び増加させること並びに相互に理解し及び相互の生活を一層真実に一層完全に知るためにこの伝達の方法を用いることに一致し及び決意している。

その結果、当事国は、世界の諸人民の教育、科学及び文化上の関係を通じて、国際連合の設立の目的であり、且つその憲章が宣言している国際平和と人類の共通の福祉という目的を促進するために、ここに国際連合教育科学文化機関を創設する。

世界遺産条約（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約）

条約の目的

文化遺産及び自然遺産を人類全体のための世界の遺産として損傷、破壊等の脅威から保護し、保存することが重要であるとの観点から、国際的な協力及び援助の体制を確立すること。

「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会規約

（名 称）

第1条 この会は、「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会（以下「実行委員会」といいます。）といいます。

（目 的）

第2条 この実行委員会は、松本城の「世界遺産」登録の実現をめざし、松本市民の共通の宝である松本城の恒久的な保存と文化財保護意識の醸成及び地域産業の活性化を図ることを目的とします。

（事 業）

第3条 この実行委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行います。

- (1) 「世界遺産」登録実現のための運動に関すること
- (2) 「世界遺産」保護活動による国際協力に関すること
- (3) 松本城及びその周辺地域の整備の促進に関すること
- (4) その他、目的達成に必要な事業

（組 織）

第4条 この実行委員会は、松本城を世界遺産に登録する運動に賛同する団体等を代表する者(以下「会員」といいます。)をもって組織します。

- 2 この実行委員会への入会は、会員2名以上の推薦により、役員会の承認を経て認めるものとします。

（役 員）

第5条 この実行委員会に、次の役員を置きます。

- 会 長 1名
- 副会長 6名
- 監 事 2名

- 2 会長、副会長及び監事は、会員の互選により定めます。
- 3 本会に実行委員会の推薦により顧問、参与及びその他の役員を置くことができます。

（役員任期）

第6条 役員の任期は、実行委員会が解散するときまでとします。但し、団体の中で異動があったときは、その後任者が継承します。

（職 務）

第7条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理します。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理します。
- 3 監事は、会計監査にあたります。

(総 会)

第8条 総会は、会員をもって構成し、次に掲げる事項を審議します。

- (1) 事業計画及び事業報告に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) 規約の改廃に関する事項
- (4) その他会長が必要と認めた事項

2 総会は、会長が招集し、会長が議長となります。

3 総会は、会員の過半数の出席がなければ開催できません。

4 総会の議事は、出席会員の過半数で決し、可否同数のときは議長が決定します。

(役員会)

第9条 役員会は、正副会長をもって構成し、次に掲げる事項を審議します。

- (1) 総会に付議する事項
- (2) 事業の執行に関する事項
- (3) その他会長が必要と認めた事項

2 役員会は、会長が招集し、会長が議長となります。

3 役員会は、役員の過半数の出席がなければ開催できません。

4 役員会の議事は、出席役員の過半数で決し、可否同数のときは議長が決定します。

(会 計)

第10条 実行委員会の経費は、負担金、協賛金及びその他の収入をもって支弁します。

2 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとします。

(事務局)

第11条 実行委員会の事務局は、信濃毎日新聞松本本社内に置きます。

2 事務局の職員は、会長が任命します。

3 実行委員会の事務処理は、信濃毎日新聞松本本社の相当規定を準用します。

(解 散)

第12条 実行委員会は、第2条の目的が達成されたときに解散します。

(補 則)

第13条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定めます。

附 則

1 この規則は、平成13年7月18日から施行します。

2 実行委員会の最初の会計年度は、第10条第2項の規定にかかわらず、平成13年7月18日に始まり、平成14年3月31日に終わるものとします。

令和6年度 「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会 構成団体名簿

(令和6年5月15日現在)

	団体名	職名等	代表者名	実行委員会役職
1	松本市	市長	臥雲 義尚	会長
2	松本市議会	議長	上條 温	副会長
3	松本古城会	会長	赤羽 郁夫	副会長
4	信濃毎日新聞社	常務取締役 松本本社 代表	井口 弥寿彦	副会長
5	松本市町会連合会	会長	中田 景文	副会長
6	松本商工会議所	会頭	赤羽 眞太郎	副会長
7	松本ハイランド 農業協同組合	代表理事組合長	田中 均	副会長
8	松本市教育委員会	教育長	伊佐治 裕子	
9	NHK長野放送局	局長	松谷 豊	
10	信越放送松本放送局	常務取締役 松本放送局長	長岡 克彦	
11	(株)テレビ信州	中南信支社長兼営業部長	谷口 考司	
12	(株)テレビ松本ケーブルビジョン	代表取締役社長	須崎 修	
13	長野エフエム放送	代表取締役社長	小林 治	
14	市民タイムス	代表取締役社長	新保 裕介	
15	松本郵便局	局長	佐藤 実	
16	東日本旅客鉄道(株)	駅長	北沢 敏広	
17	アルピコホールディングス(株)	代表取締役社長	佐藤 裕一	
18	松本地区タクシー協議会	議長	伊藤 篤	
19	松本交通安全協会	会長	小林 磨史	
20	一般社団法人松本観光コンベンション協会	会長	齊藤 茂行	
21	長野県経営者協会中信支部	支部長	神澤 陸雄	監事
22	松本商店街連盟	専務理事	齊藤 勉	
23	(一社)松本青年会議所	理事長	澤地 雅弘	
24	松本旅料飲食団体協議会	議長	大野 貴由	
25	松本特産品振興協会	会長	赤羽 眞太郎	
26	松本観光名産品協会	会長	林 信利	
27	浅間温泉観光協会	会長	二木 伸次	
28	松本市内ホテル旅館組合連合会	会長	中澤 伸友	
29	街を花いっぱいにする会	会長	臥雲 義尚	
30	松本市女性団体連絡協議会	会長	原 弥生	
31	松本市高齢者クラブ連合会	会長	青木 厚	
32	地域文化財連絡協議会	会長	長岡 寿	
33	松本史談会	会長	窪田 雅之	
34	松本ユネスコ協会	会長	濱 幾郎	監事
35	日本国際連合協会 松本支部	支部長	本郷 ゆみ子	
36	国際ソロプチミスト松本	会長	北原 廣子	
37	国際ゾント松本ゾントクラブ	会長	古旗 征子	

	団体名	職名等	代表者名	実行委員会役職
38	松本市駐車場事業協同組合	理事長	土橋 伊久雄	
39	松本SGGクラブ	会 長	斉藤 雅彦	
40	NPO法人アルプス善意通訳協会	理事長	中田 和子	
41	松本城案内グループ	グループ長	齊藤 孝資	
42	松本城鉄砲蔵赤羽コレクション会	会長	関 通喜	
43	江戸千家	代表	田中 宗文	
44	松本市謡曲連合会	代表	瀧口 孝一	
45	松菊会	会長	横山 金生	
46	中信華道会	会長	中村 理尚	
47	(株)JTB松本オフィス	松本オフィス長	山口 昌之	
48	(株)日本旅行松本支店	支店長	丸山 聡	
49	近畿日本ツーリスト(株) 松本営業所	営業所長	伊藤 健公	
50	東武トップツアーズ(株)松本支店	支店長	高橋 実	
51	(株)農協観光 長野エリアセンター	エリア長	高山 隆	
52	松本城ロータリークラブ	会長	西川 禎人	
53	いけばなインターナショナル信濃支部	支部長	上條 香月	
54	(株)長野放送	中南信支社長	高波 雄一郎	
55	長野朝日放送(株)中南信支社	中南信支社長	大竹 学	
56	松筑剣道連盟	会長	百瀬 裕	
57	キッセイ薬品工業株式会社	代表取締役会長 最高経営責任者	神澤 陸雄	
58	公益社団法人 松本地域シルバー人材センター	理事長	青木 敏和	
59	松本深志ライオンズクラブ	会長	吉岡 直美	
60	明治安田生命保険相互会社松本支社	支社長	緒方 純子	
61	(株)アスピア	代表取締役	百瀬 方洋	
62	NTPトヨタ信州(株)	代表取締役社長	日高 雅之	
63	サスナカ通信工業(株)	代表取締役社長	宮坂 昌樹	
64	(有)中部警備救助	代表取締役	古畑 忠俊	
65	(株)巴屋	代表取締役	武田 善彦	
66	松本ガス(株)	代表取締役社長	清水 是昭	
67	松本土建(株)	代表取締役社長	大池 太士	
68	笹井酒造(株)	代表取締役	笹井 雄二	
69	(株)エム・エス・ディ	代表取締役	工藤 勲	
70	川越印刷(株)	代表取締役	小林 雅範	
71	電算印刷(株)	代表取締役社長	宮澤 徹	
	松本古城会	名誉会長（前松本古城会長）	田中 荘太	顧問

会員数：71団体

「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会事務局

信濃毎日新聞松本本社

〒390-8585 長野県松本市中央2-20-2

TEL 0263-32-3460

FAX 0263-32-1215

松本市役所文化観光部文化振興課

〒390-0874 長野県松本市大手3-8-13

TEL 0263-34-3293

FAX 0263-34-3018

E-mail bunkashinko@city.matsumoto.lg.jp



「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会公式ホームページ